

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	横島ひいらぎこども園
施設種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	令和1年12月20日

[様式 9-1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	槇島ひいらぎこども園	施設種別	幼保連携型認定こども園 (旧体系： )
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和元年12月20日

<p>総 評</p>	<p>槇島ひいらぎこども園は平成23年に保育園として開設し、平成31年に幼保連携型認定こども園に移行されました。園の前には府営住宅が5年前に建てられ、子育て世帯の増加がみられることから、平成30年には園舎増築により定員を180名に増員されました。園の周りは畑に囲まれ、園庭が2箇所(土と芝生)整備されているなど、豊かな環境の中に園舎があります。</p> <p>「心に華を咲かせよう」という法人理念のもと、保育目標である「やさしくたくましい子」「自分も人も大切に作る子」「発見や工夫を楽しむ子」「自分で考え、行動する子」に育てるべく、食育に力を入れ、園庭に作った畑で収穫した食材を給食に利用したり、クッキング保育を行うなど様々な取り組みを行っています。また、自然(科学)を愛する保育を通して子どもたちが生命の大切さに気付くように、園内で様々な生き物を飼育したり、広い園庭をフルに活用するためスポーツDAYを設け、大学の研究とタイアップし園児の体力向上にも努められています。</p>
<p>特に良かった点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が保健・給食・研修・美化などの委員会に分かれ、年度初めに立てた計画をもとに月に1回報告を行うなど、保育の質の向上に熱心に取り組まれています。</li> <li>・地域との交流活動については、全体的な計画の中に「地域との連携」を位置づけ、小学校や中学校、グループホームなどと積極的に交流活動を行っています。</li> <li>・全国保育士会による「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト～「子どもを尊重する保育」のために～」を職員に配布し、子どもを尊重する保育の取り組みがあります。</li> <li>・給食の献立は、自園の栄養士が作成し、子どもが栽培した野菜や添加物にも気をつけた食材を使って自園の調理師が作っています。また、わらびもちや冬至うどんなど季節感や食文化を取り入れた手作りのものが提供されています。</li> </ul>
<p>特に改善が望まれる点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画は施設長を中心に策定されており、ホームページにも公開されていません。今後は、職員の意見を反映した上で事業計画を策定されるとさらに良いでしょう。</li> <li>・3歳未満児については個別の指導計画の作成が義務付けられていますので、作成されると良いでしょう。</li> <li>・保育者は、チェックリストで自己評価を年3回行い、自分の保育を振り返り、保育の質の向上や改善を行っています。今後は、その振り返りをこども園全体の自己評価につなげていかれるとさらに良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

**A-1 保育内容**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	b	a
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	b
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	a

**[自由記述欄]**

- ・全体的な計画は、正規職員による参加のもと編成されています。今年度よりこども園になったことで、編成された計画はまだ見直しされていませんが、今までのように年度末に見直し、次年度の編成を予定されています。
- ・園内はアルコールや塩素系消毒液で消毒し、衛生管理に配慮されています。布団は保護者が持参し、週1回持ち帰っています。また、リース布団もあり週1回交換されています。
- ・サツマイモなど季節の野菜を子どもが栽培したり、広い芝生の園庭や近くの川で遊んだり、自然と触れ合う工夫があります。
- ・部屋ごとではありませんが、牛乳パックやラップの芯などのリサイクル素材が自由に使えるように整理されていて、思い思いの作品を作って楽しそうに遊んでいる子どもの姿が見られました。
- ・階段の下や絵本コーナーなど、子どもが落ち着ける場所があり、保育者と1対1で嬉しそうなお子様の姿がありました。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	a

**[自由記述欄]**

- ・看護師が保健室で体調不良の子どもやケガをした子どもの対応をしています。日常は0歳児の部屋に入り、子どもの発達や健康状態に気をつけています。
- ・ホームページや園だより、園内のお知らせなど、文書や写真で保育内容を説明・発信し、行事後のアンケートで保護者の意見を聞いて取り入れるなど、保育の質の向上に努めています。
- ・園長は月に1回、校区の小学校の会議に参加したり、職員はそれぞれの小学校で行われる「保幼小連絡会（その小学校に進学した卒園児が通っていた幼稚園、保育園等の先生が集まり、授業参観や懇談会を行う）」に参加したり、小学校との連携を図っています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	b	a

[自由記述欄]

- ・睡眠中、0歳児は5分ごとに、1・2歳児は10分間隔でチェックシートを使用し、子どもの様子を把握し、SIDSによる事故防止に対する配慮を行っています。
- ・アレルギーのある子どもは、医師からの指示書を保護者より提出してもらい対応しています。アレルギー対応食は食器にアルミホイルをかけて、アレルギー食材を記入し、トレーにのせて配膳し、誤食防止に努めています。
- ・給食の献立は、自園の栄養士が作成し、子どもが栽培した野菜や添加物にも気をつけた食材を使って自園の調理師が作っています。また、わらびもちや冬至うどんなど季節感や食文化を取り入れた手作りのものが提供されています。

**A-2 子育て支援**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

- ・0～2歳児は連絡帳で、3歳児以上はクラスのボードで、毎日の子どもの様子を知らせています。また、災害や感染症などを知らせる一斉メールもあります。
- ・保育者は、チェックリストで自己評価を年3回行い、自分の保育を振り返り、保育の質の向上や改善を行っています。今後は、その振り返りをこども園全体の自己評価につなげていけるとさらに良いでしょう。

**I-1 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
			[自由記述欄]		
<p>・法人理念「心に華をさかせよう」は、わかりやすく明文化され、子どもだけでなく保護者や地域、職員への思いが込められており、法人の目指す方向・考え方を読み取ることができます。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
			3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
[自由記述欄]					
<p>・施設長は、園児の通園範囲の広域化や働き方改革に伴う人件費率の増加など、地域の特徴・変化や経営課題を明確に把握し、取り組みを進められています。今後は、園内だけでなく法人内で課題を共有し、取り組みを進められると良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
			5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
			7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
[自由記述欄]					
<p>・事業計画が策定されており、重点課題が具体的に示されています。事業計画は年度初めに職員に配布され、園全体で共有されています。</p> <p>・事業計画はホームページに公開されており、保護者が閲覧できるようになっています。今後は、職員の意見を反映した上で事業計画を策定されるとさらに良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
			9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
[自由記述欄]					
<p>・保育の質向上に向けた取り組みとして、園内委員会を組織し、職員が保健・給食・研修・美化などの委員会に分かれて年度初めに計画を立て、月に1回報告を行っています。今後は、第三者評価以外にも園全体の自己評価を定期的に年1回行うとさらに良いでしょう。</p> <p>・運動会や発表会など行事の後には保護者アンケートを行い、改善が行われています。</p>					

Ⅲ 児の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b

[自由記述欄]

- ・施設長は、毎月の園だよりの巻頭に自ら思いを文章として掲載し、自らの責任と役割を表明しています。
- ・職務分掌については、運営規程に記載されており、職員にも周知されています。
- ・施設長は、京都府保育協会などの研修に自らも参加し、順守すべき法令などを理解しています。宇治市のごみ減量推進課の指導により、ゴミの減量など環境への配慮にも取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	a

[自由記述欄]

- ・きょうと福祉人材育成認証制度でも認証を受けられ、人材の育成や確保に熱心に取り組まれています。
- ・「はよかえるデー」など働き方改革の取り組みや、職員のストレスチェックや腰痛検査、職員との個別面談も行っており、働きやすい職場作りに取り組まれています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	b
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b

[自由記述欄]

- ・職員一人一人の育成のため、「職員育成評価シート」を活用し、職員がキャリアパスの各役職の項目ごとに目標を立てています。
- ・キャリアパスの中に、役職ごとに必要とされる研修内容が書かれており、職員各自が受けた研修記録を育成評価シートに記載し、把握しています。
- ・正規職員だけでなく、パート職員も希望すれば研修に参加することができるなど、全ての職員に研修の機会が確保されています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
[自由記述欄]					
<p>・ホームページには、理念や方針・事業計画などが公開されており、誰でも閲覧できるようになっています。その他、毎日園の活動をブログで公開している他、小学校やコミュニティセンターに園だよりを送るなど、情報公開が適切に行われています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b	
	27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b	
[自由記述欄]					
<p>・地域との交流活動については、全体的な計画の中に「地域との連携」として位置づけて、活動内容を記載しています。北横島小学校、横島中学校、グループホーム鳳凰横島などと積極的に交流活動を行っています。また、久御山高等学校の保育体験、地域子育て支援基幹センターの夏休みを利用した学生ボランティアを積極的に受け入れています。</p> <p>・地域の関係機関等の社会資源をリスト化しています。宇治市就学指導委員会に定期的に参加し、また、宇治市ゴミ減量推進課との交流では、スケルトンパッカー車が園に来て、子どもたちの環境への関心を高める取り組みがあります。</p> <p>・自治会から第2避難所（お年寄りや体が不自由な方など、小学校へ避難するのが難しい方が避難する場所）として指定されています。また、夏祭りには地域の方々が参加します。未就園児一時保育事業を行っています。</p> <p>・園庭開放に来る地域の方に対して、園長や主任が話しかけ、子育てに対する不安等があれば、相談にのっています。地域の福祉ニーズの把握に努め、こども園の機能を生かした地域貢献に努めるとさらに良いでしょう。</p>					

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

[自由記述欄]

・理念、目標、目指す子ども像の中に子ども尊重の精神が述べられています。全国保育士会による「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト～「子どもを尊重する保育」のために～」を職員に配布し、子どもを尊重する保育の取り組みがあります。個人情報保護規程及びマニュアル、プライバシーポリシーを策定し、子どものプライバシー保護に努めています。

・園の情報を宇治市の子育て情報誌に掲載しています。利用希望者から見学の問い合わせがある場合には、個別に対応し、園長が30分程度の時間をかけ、園の方針や保育内容を見学者に説明しています。また、園のしおりや資料はカラーで印刷され、写真やイラストが使用され、見やすく、分かりやすく工夫があります。

・転園等の場合には、必要に応じて児童要録を転園先に送付しています。転園など保育所等の変更について、重要事項説明書やしおりに盛り込むなど、明文化されるとなおります。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b

[自由記述欄]

・苦情解決責任者、苦情受付責任者、第三者委員を設置して、苦情解決の体制を整えています。玄関に保護者会の意見ポストを設置し、園便りに載せるなどフィードバックをしています。また、作品展、運動会、発表会の行事の後にアンケートをとり、その意見を参考にし、ひとり親家庭に対しては行事中も子どもを職員がみたりするなど、必要に応じて改善を図っています。保護者による意見や苦情はないとのことですが、記録の方法や手順などを定める文書(マニュアル)等があればさらに良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	a

[自由記述欄]

・安全管理マニュアル、事故防止マニュアル、プール管理マニュアル、ヒヤリハット報告書を作成しています。園内に保健安全委員会を設置し、危機管理会社の指導の下、安全管理に努めています。

・感染症の予防と発生時の対応マニュアルを作成し、各クラスに配布しています。感染症の発生状況を掲示板で保護者に知らせています。産業医からアドバイスをもらい、また、相談するなど連携を図り、感染症予防に努めています。

・お菓子、米を備蓄しています。災害用の機器として、蓄電池・発電機を保有しています。地震・火災・大雨災害を想定して避難訓練を行っています。保健安全委員会で、避難訓練の計画を見直し、災害時の対策を協議するなど災害時における子どもの安全確保に努めています。

・不審者侵入時の対応マニュアルを作成し、各クラスへ配布しています。さすまた2本、催涙スプレーを備えています。園の出入り口に電気錠を設置し、登降園時には警備員を配置しています。また、年2回、不審者侵入を想定した訓練を実施しています。



評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されて いる。	b	a
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立してい る。	c	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間 で共有化されている。	b	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b	a

[自由記述欄]

・朝の受け入れ、トイレ、食事、配膳、戸外遊び、散歩等について、ねらいと着眼点を示した安全チェックリストがあり、保育についての標準的な実施方法を定め、文書化しています。また、保育職員の自己評価を行っています。標準的な実施方法の見直しについて、検証や見直す時期や方法を定め、定期的の実施すると良いでしょう。

・支援を必要とするケースにおいては、保護者と面談し、宇治市の健康推進課とも連携して個別の指導計画を作成し、計画に基づく保育の提供を積極的に行っています。通常の場合でも、保護者面談を行い、保護者の意向を指導計画や保育に反映すると良いでしょう。3歳未満児についても、個別の指導計画の作成が義務付けられていますので、作成されると良いでしょう。

・園児の登園・降園から、指導計画、日誌、発達記録等にいたるまで、管理ソフトを用いてパソコンで管理しています。様式の統一化、情報の共有化が図られ、記録の管理体制が確立しています。